



No.416 令和8年9月30日

おおたこうれん

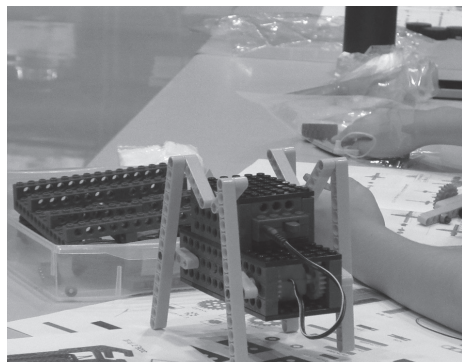
発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 広瀬 安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所



講師の説明を聞く参加者ら

夏の終わりを告げるような小雨の中、大田区と大田工業連合会は、8月29日、30日に大田区産業プラザP.i.O.1階大展示ホールにて、親子で楽しむ「ロボット作り教室」を開催した。大田区内に在住または在学する小学1～4年生が対象で、保護者同伴で各回約194組384名、が参加した。29日午後の教室開催にあたり、当会の浜口和彦事務局長は「ものづくりといえ、大田区と言われるほどの信頼を得ているこの場所、ものづくりの楽しさを体験してもらうために企画しました」と挨拶した。

同教室では、民間でロボット教室を運営しているヒューマンアカデミー（株）が行う技術指導を担当し、参加者の作業を丁寧にサポートした。使用したロボットキットは、パーツ構成を入れ替えることで四輪車、四足歩行ロボット、二足歩行ロボットなど複数の形態に組み替えられる拡張性の高い教材で、ギアや軸、モーター、フレームパーツを組み合わせて動作を作り出す仕組みになっている。子どもたちは説明書を確認しながら作業を進め、ヒューマンアカデミーの講師やスタッフが各テーブルを巡回して、パーツの向きや組み合わせのコツを助言するなど、初めてロボット工作に触れる子どもでも取り組みやすい環境が整えられていた。



真剣にロボットの機構を組み立てる

参加した親子は、子どもが主体となってギアの噛み合わせや軸の通し方を慎重に確かめながら作業を進めた。保護者は子どもが取り組む姿を見守り、時々サポートをする姿が見られた。四輪車や四足歩行でロボットが動くようになってくると、完成したロボットをテストエリアに持ち込んで動作確認を行う子どもたちが増えた。自分好みに装飾を施すためのパーツも用意されており、戦車や恐竜を作りこむ姿も見られた。



恐竜など生き物に見立ててカスタマイズする参加者も



顔を付けた二足歩行のロボットの動きを親子で見守る

難題のようで、完成に至ることができなかった参加者も見られた。「バランスを取るのが難しい」と、不安定な二足歩行に悩んでいた小学3年生の木村実来さんは、スタッフからアドバイスを受けて安定させる方法を学び、見事に完成させた。会場には終始、子どもたちの好奇心と挑戦心が満ち、ものづくりのまち・大田区らしい活気があふれていた。複雑な構造に挑戦しながら試行錯誤を重ねた参加者らは、ものづくりの奥深さを体感し、この夏の一つの思い出としたようだった。

「親子で楽しむ ロボット作り教室」2026

国の融資制度「マル経融資」をご存知ですか？

マル経融資は、商工会議所の推薦にもとづく、日本政策金融公庫の**無担保・保証人不要（信用保証協会の保証も不要）**の融資制度です。

【**限度額**】**2,000 万円** 【**利率**】**2.90%**
(2026 年 9 月 1 日現在)

【**融資対象**】従業員20人以下
(宿泊業、娯楽業を除く商業・サービス業5人以下)の法人・個人

【**使 途**】事業資金(運転・設備資金)
【**返済期間**】運転10年以内・設備10年以内

◆審査の結果、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

※大田区より当初3年間、支払い利息の40%が補助されます。
※融資利率は金融情勢により変わる事があります。
※日本政策金融公庫での融資決定時の利率が適用されます。

経営上でお悩みの時

《予約制・無料》

窓口専門相談をご利用ください

・法律相談・税務相談・労務相談・金融相談

※本相談は、経営に関する相談に限定しております。

※会員非会員を問わずご利用いただけます。

※この融資限度額及び返済期間の取扱いとは2027年3月31日

日本政策金融公庫受付分までとなります。

※最新の利率については大田支部までお問い合わせ下さい。



東京商工会議所 大田支部

☎ 3734-1621 大田区南蒲田 2-16-2 (テクノポート大樹生命ビル9階)

🔭 産業のまち発見隊 2026 🔭

小学生の親子が工場見学、ものづくりに挑戦



新日東電化でメッキを学ぶ発見隊

大田区と大田工業連合会は、小学生と保護者が工場を見学し、工作体験をするイベント「産業のまち発見隊」を開催した。区内に住・在学の小学4年生から6年生の児童と保護者が参加。開催日は7月24日と8月25日で、合計93名が参加した。普段立ち入ることのない工場内に入り、職人の技術や製造の仕組みについて学ぶ子供たち。保護者が見守るなか、工作機械やパソコンを使ってもものづくりにも挑戦した。

7月24日は、京浜島にある（株）新日東電化を訪問。同社はメッキ加工の会社で、一都三県で最大のメッキ工場を擁する。会社説明に登場した海老名英和社長は「メッキはものづくりに不可欠な技術」とPR。

工場見学では、半導体製造装置に使われる部品等のメッキ工程を学んだ。担当の池田ひかりさんは「メッキ槽の温度は90度くらい。非常に暑い職場なので、スポットクーラーを各所に設置しているほか、塩飴を配布して社員の健康管理につとめている」と、暑い夏の乗り切り方を説明した。同社は障害者雇用に関心をもち、企業に障害者の雇用を義務づける「法定雇用率」が、一般的な企業が2・7%のところ、同社は18%に達している。海老名社長は「当社の製造部では社員の4人に1人が障害者であり、重要な戦力だ」と強調した。

午後には新校舎となった城南職業能力開発センター大田校を訪問し、複数のものづくり体験を実施した。ペンギン型のアクリル製メモスタンド、金属製のペン立てを制作。AR（拡張現実）シミュレーターを使った溶接体験も行われた。

8月25日は（株）桂川精螺製作所を訪ねた。同社は自動車や産業機械に使われるネジを作る。子供たちは工場を見学し、ネジ製造を体験。桂川精螺製作所の社員がガイドして、手動機械を操作した。子供にとっては力がいる機械もあり、全身で機械に取り付いてハンドルを回す。できあがったネジは紐や装飾を付け、世界で唯一のストラップになった。小学6年生の澤村颯生さんは「学校で配られたチラシをみて興味を覚え参加した。ネジができる工程の説明などが分かりやすかった」と笑顔を見せた。

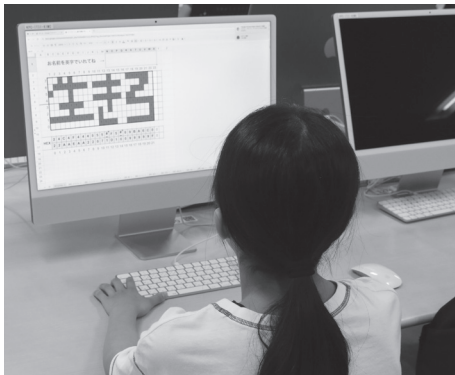


ネジを使った手作りアクセサリ

見学会では桂川精螺がパートナー契約を結ぶ宇宙ベンチャー（株）ダイモン（東京都中央区）の小型月面探査車「YAO K I」も登場。説明員を務めた大島達士郎取締役執行役員は、2025年2月27日に月面に到着した「YAO K I」のミッションについて解説。体験フィールドでは、子供たちはラジオコンの要領でYAO K Iを操作した。月面と同じ重力環境下でYAO K Iの駆動を再現する実験も行われた。



ハンダごてを上手に使いバーサライタを製作



好きな文字や図をプログラミング

午後には日本工学院専門学校蒲田校で「バーサライタ」を制作した。バーサライタは一直線に並べたLEDを点滅させ、左右に振ることで、残像により文字や模様を表示する機械。子供たちは緊張した面持ちでハンダごてを握り、電子回路をハンダ付け。表示したい文字や図形をパソコンで入力し、バーサライタを完成させた。

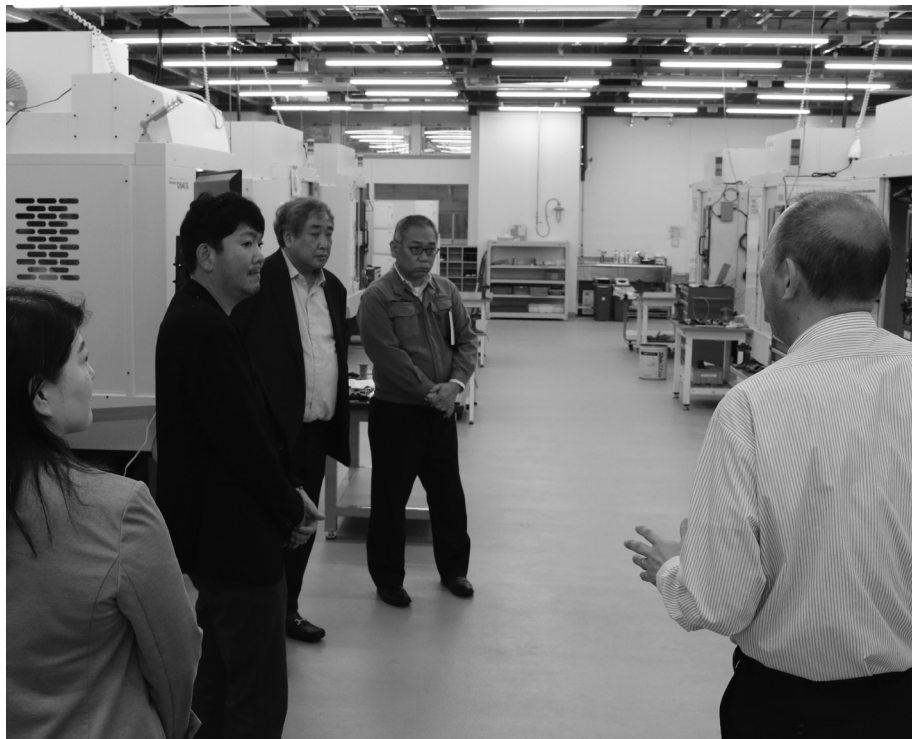
産業のまち発見隊、全体の感想として、小学6年生の内田りんさんは「小学4年生から申し込んでいて、3年目でようやく当選した。もともと工作が好きで、バーサライタ作りが楽しかった。講師のお兄さんたちに、ハンダ付けが上手」と感想を述べた。

小学4年生の宇佐美尊さんは「YAO K Iの操縦が面白かった。ネジを作るのに力が必要で大変だった。来年も参加したい」と述べる。保護者は「日々の生活の中で子供がものづくりや宇宙工学に興味を持つタイミングは少ない。同イベントは貴重な機会です」と感想を述べた。

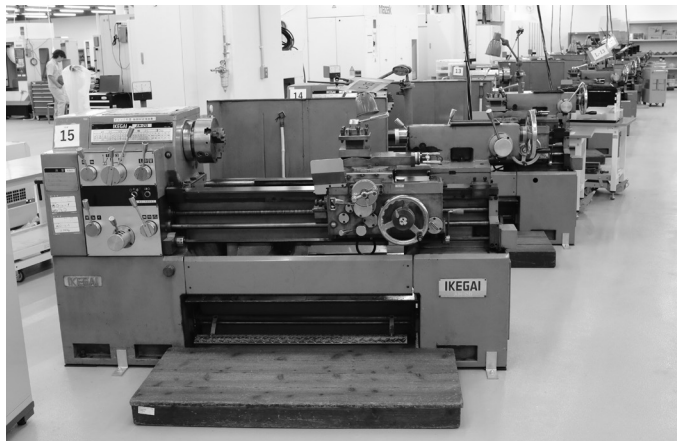


「YAO K I」の操縦体験

城南職業能力開発センター大田校 新校舎の見学会を実施



小澤校長の説明に耳を傾ける当会会員たち



授業で使う汎用旋盤が並ぶ

東京都立城南職業能力開発センター大田校は9月11日、当会の会員企業を対象にした施設見学会を開催した。同校は求職者に対し板金溶接や広告美術、調理などの職業訓練を行う。4月に京浜急行電鉄空港線大鳥居駅近くの新校舎へ移転した。地域での認知度向上と求職者の雇用拡大を目指すし、小澤力校長自ら施設を案内した。

同校は3階建て。1階には機械加工の授業で使う工作機械を設置し、2階はCAD・CAMなどパソコンを使った授業の教室、3階には調理や広告美術の教室がある。

1階には汎用旋盤から5軸のマシニングセンタまで、多様な工作機械や板金機械を設置。見学した当会会員は「すごいラインナップだ」と感嘆した。溶接の授業用としてAR（拡張現実）のシミュレーターも用意している。

2階にはパソコンのほか3Dスキャナー、3Dプリンターを設置。3階には面積390平方メートル、200

〜300人が入る大ホールを作っている。小澤校長は「大ホールを使って自分たちや関連する団体のイベント、セミナーを開催、地域に存在を知ってもらいたい」と狙いを語る。

見学会に参加した広瀬安宏会長は「立派な施設だ。大田区の町工場と城南職業能力開発センター、互いに協力していきたい」と感想を述べた。

小澤校長は「製造業を志望する求職者は少ないが、それはものづくりの魅力が伝わっていないためだ。ものづくりの魅力を発信することで、就業志望者の増加につなげたい。今後は、求職者への職業訓練と平行し、ものづくりの魅力発信にも取り組んでいきたい」と熱く語った。

【大田区内企業の皆さまへ】

人手不足に、「内職」という選択肢！ 内職者を必要とする 求人企業を募集しています！



本事業に係る
費用はすべて
無料！

人手が足りない・・・作業を外注したい・・・
そんなときこそ、地域の在宅ワーカーの力を活用してみませんか？
約600人の登録者から適任の人材をご紹介します(昨年度は199社にご紹介)。

活用できる業務例

部品の組み立て・検品・バリ取り・ワイヤー
ハーネス・ゲートカット・はんだ付け・シール貼りや袋詰め等の軽作業・梱包・封入作業など

こんなお悩み、ありませんか？

繁忙期だけ一時的に人手が欲しい 社内スペースが限られていて作業がしにくい
内職を依頼したいが、どう探していいかわからない

お問い合わせ

(公財)大田区産業振興協会 取引支援（国内外・人財）係 + WORK（内職あっせん・相談）窓口
TEL03-3733-6126 ※当協会は大田区の外郭団体です。



中小製造業向け業務改善セミナー開催



セミナー風景

「事務作業についてはノータッチのところがあり、原因も分からなかった。しかし仕事ぶりを見てみると時間がかかっている印象だった」と柳沢社長。大津先生は「ベテランの事務員さんが長年の経験をもとに仕事をしており、システムと手書きを平行していた。実際には出力できる内容を手書きしていることもあり、そこに業務の効率化

大田区産業経済部産業振興課と大田工業連合会は、7月9日、羽田イノベーションシティPiOPARKで、中小製造業向けの業務改善セミナーを開いた。大田区は、区内製造業のデジタル化を推進することで、売上や利益の拡大・顧客拡大・業務効率改善等を図っている。今回のセミナーでは、製造現場に直結するテーマを中心に、中小企業が無理なく導入できるデジタル技術・手法を分かりやすく紹介。中小企業診断士による講演のほか、区内企業2社によるパネルディスカッションも開催した。会員企業など18名が参加した。

最初は中小企業診断士、ITコーディネータの大津琢磨先生による講演が行われた。大津先生は、「昨今、人手不足が続くなかDX（デジタルトランスフォーメーション）などデジタルを使った業務の効率化が必須」と説明。山口県の酒造会社の具体例を挙げつつ、「全くデジタル化していなかった会社でもデジタル化による効率化が実現できた。皆さんもぜひ一歩を踏み出してほしい」と語った。続いて2026年度の業務改善サポーター事業について紹介が行われた。同事業は区内の中小企業に専門家を派遣し、デジタル化を伴走支援するもの。支援者である大津先生と、実際にサポーターを受けた(株)平川製作所の柳沢重幸社長が登壇し、パネルディスカッションを行った。平川製作所では、事務作業の効率化を目指した。

「事務作業についてはノータッチのところがあり、原因も分からなかった。しかし仕事ぶりを見てみると時間がかかっている印象だった」と柳沢社長。大津先生は「ベテランの事務員さんが長年の経験をもとに仕事をしており、システムと手書きを平行していた。実際には出力できる内容を手書きしていることもあり、そこに業務の効率化

する余地があった」と振り返る。柳沢社長は「古いシステムを入れ替える必要があるかと思っていたが、先生からは『お金をかけなくてもできることはある』と教えられた。後手になっていた作業の見直し・効率化ができてありがたかった」と感想を述べた。続いて(株)フルハートジャパンの石川貴嗣社長が登壇した。同社では営業支援ツールなど複数のシステムを導入したが、現場で上手く活用できていない問題があった。石川社長は「SFA（セールス・フォース・オートメーション、営業支援システム）については何年かかっても定着しなかった。どうすれば現場が使ってくれるのか悩みだった」と説明。フルハートジャパンでは、社内の勉強会を行い、効率化の重要性を現場に理解して貰うことからスタート。さらに若手主導の業務改善チームを立ち上げ、現場がみずから改善を考え定着させる体制を作ることになった。



盛り上がったパネルディスカッション



石川社長



柳沢社長



大津先生

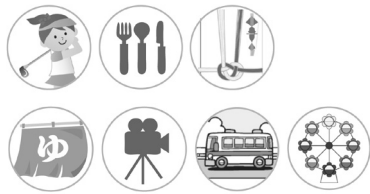
福利厚生充実で、人財確保・人財定着へ

大田区勤労者共済は、公益財団法人大田区産業振興協会が運営する区内中小企業向けの福利厚生サービスです（令和8年9月1日現在 1,196 事業所、3,892 人が加入されています）。わずかな掛金（入会金 200 円、月会費 500 円／人）で、複利厚生を導入でき、事業主や社員とご家族が充実した生活を過ごしていただく環境を提供いたします。



人が集まる会社には、理由がある
それは“働きやすさ”が整っているからです。福利厚生を充実させることは、
人材戦略そのもの。当共済サービスを活用して、人材の確保と定着を実現しましょう！

- 提供サービスの内容（一例）
- ・慶弔費の給付 ... 各種祝金（結婚・出産等）・祝品（入学・継続）、見舞金、弔慰金
 - ・映画券 ... 1,100 円から提供。デジタルチケットもあります。
 - ・食事券 ... 有名ホテルやレストランのグルメがお手頃価格
 - ・入浴券 ... 公衆浴場のセット券やおふろの王様（大井町店）が割引価格でご利用可能
 - ・その他 ... 観劇、コンサート、美術展、スポーツ観戦、レジャー施設等も斡旋しています。
- まだまだいっぱいありますよ（^^）/



よく働き、
よく遊ぼう!!

お問合せ・資料請求 TEL03-3733-6107【大田区産業プラザ（PiO）1 階】
受付時間 9:00 ～ 17:00 月～金曜日（休祝日・年末年始を除く）

大田区勤労者共済 検索